

をお願いする背景

トラック業界の働き方改革と 差し迫る2024年問題

平成31年
4月～

年休5日の取得が義務化

年10日以上の有給休暇を付与する社員に対し、基準日から1年以内に5日以上の有給休暇を取得させる義務が課せられました。

令和5年
4月～

残業割増賃金率の変更

月60時間を超える時間外労働に対し、50%以上の割増賃金率で計算した割増賃金を支払わなければなりません。

令和6年
4月～

時間外労働の上限規制

自動車運転者について、時間外労働の年960時間の上限規制が適応されます。将来的には一般職と同じ年720時間になることも予想されます。

改正改善基準告示が施行

自動車運転者の労働条件の向上を目的として、労働時間や休憩時間について規制が改正されます。これにより、働く事が出来る時間が減少します。

| | 1年の拘束時間 | 1か月の拘束時間 | 1日の休息期間 |
|--------------|--------------------------|--------------------------------------|------------------------------|
| 改正前 (年換算) | 3,516時間 | 改正前 (月換算) 原則:293時間 最大:320時間 | 改正前 継続8時間 |
| 改正後 | 原則:3,300時間 最大:3,400時間 | 改正後 原則:284時間 最大:310時間 | 改正後 継続11時間を基本とし、 継続9時間 |

トラック業界にとって安全運行の確保は社会的使命であり、これまで様々な規制が強化されてきました。

| | | | |
|-----------|---|---------------|---|
| 備付・装着が義務化 | <ul style="list-style-type: none"> ■スピードリミッター ■アルコール検知器 ■運行記録計[タコグラフ] ■ディーゼル微粒子除去装置 等 | より安全な運行を目指すため | <ul style="list-style-type: none"> ■ドライブレコーダー ■バックモニター ■衝突被害軽減ブレーキ |
|-----------|---|---------------|---|

先進安全機器へ多額の設備投資が求められる

年々運行コストが増大 近年ではSDGsやカーボンニュートラルなどへの対応も求められています。

国交省が告示した標準的な運賃をご確認ください

一部の荷主からは、前向きな声が届いています。

- すでに関係改善に取り組んでいる。
- ECビジネスを拡大するためにも、今後も良い関係を続けたい。
- 過去の値下げ競争の金額のままでは、厳しいのは理解しています。
- 今後もビジネスパートナーとして、信頼関係を深めたい。
- 申し込みがあれば、丁寧に対応します。

| キロ程 | 車種別 | 小型車(2tクラス) | 中型車(4tクラス) | 大型車(10tクラス) | トレーラー(20tクラス) |
|--------------------------------------|-----|------------|------------|-------------|---------------|
| 10km | | 14,390 | 16,530 | 20,790 | 25,850 |
| 20km | | 16,080 | 18,500 | 23,430 | 29,270 |
| 30km | | 17,770 | 20,480 | 26,070 | 32,690 |
| 40km | | 19,460 | 22,450 | 28,710 | 36,110 |
| 50km | | 21,150 | 24,420 | 31,350 | 39,530 |
| 60km | | 22,840 | 26,390 | 33,990 | 42,950 |
| 70km | | 24,530 | 28,370 | 36,630 | 46,370 |
| 80km | | 26,220 | 30,340 | 39,270 | 49,790 |
| 90km | | 27,910 | 32,310 | 41,910 | 53,210 |
| 100km | | 29,600 | 34,280 | 44,550 | 56,630 |
| 110km | | 31,290 | 36,240 | 47,120 | 59,950 |
| 120km | | 32,980 | 38,190 | 49,690 | 63,270 |
| 130km | | 34,670 | 40,140 | 52,250 | 66,580 |
| 140km | | 36,370 | 42,090 | 54,820 | 69,900 |
| 150km | | 38,060 | 44,040 | 57,390 | 73,220 |
| 160km | | 39,750 | 45,990 | 59,960 | 76,540 |
| 170km | | 41,450 | 47,940 | 62,520 | 79,850 |
| 180km | | 43,140 | 49,900 | 65,090 | 83,170 |
| 190km | | 44,830 | 51,850 | 67,660 | 86,490 |
| 200km | | 46,520 | 53,800 | 70,230 | 89,810 |
| 200kmを超えて500kmまで 20kmを増すごとに加算する金額 | | 3,380 | 3,870 | 5,070 | 6,540 |
| 500kmを超えて50kmを 増すごとに加算する金額 | | 8,440 | 9,680 | 12,660 | 16,340 |

| 種別 | 小型車(2tクラス) | 中型車(4tクラス) | 大型車(10tクラス) | トレーラー(20tクラス) |
|---|------------|------------|-------------|---------------|
| 基礎額 | | | | |
| 8時間制 基礎走行キロ: 小型車は100km 小型車以外のもの130km | 35,710 | 42,130 | 53,700 | 67,370 |
| 4時間制 基礎走行キロ: 小型車は50km 小型車以外のもの60km | 21,430 | 25,280 | 32,220 | 40,420 |
| 加算額 | | | | |
| 基礎走行キロを超える場合は、10kmを増すごとに | 280 | 340 | 510 | 710 |
| 基礎作業時間を超える場合は、1時間を増すごとに (4時間制の場合であって、午前から午後にわたる場合は、 正午から起算した時間により加算額を計算する。) | 3,430 | 3,590 | 3,850 | 4,550 |

| 割増 | 対象 | 率 |
|---------|----------------------|----|
| 特殊車両割増 | 冷蔵庫・冷凍庫 | 2割 |
| 休日割増 | 日曜祝日に運送した距離に限る | 2割 |
| 深夜・早朝割増 | 午後10時から午前5時までに輸送した距離 | 2割 |

| 時間 | 車種別 | 小型車(2tクラス) | 中型車(4tクラス) | 大型車(10tクラス) | トレーラー(20tクラス) |
|---------------------------------|-----|------------|------------|-------------|---------------|
| 30分を超える場合において 30分までごとに発生する金額 | | 1,670 | 1,750 | 1,870 | 2,220 |

「適正な運賃」は各運送会社が独自に算出した運賃であり「標準的な運賃」とは異なることにご注意下さい。

積込料、取卸料、附帯業務料
積込み、取卸しその他附帯業務を行った場合には、運賃とは別に料金として収受

実費
有料道路利用料、フェリー利用料
その他の費用が発生した場合には、
運賃とは別に実費として収受

燃料サーチャージ
別に定めるところにより収受

その他
この告示に定めるもののほか、この告示の
施行に関し必要な事項は、別に定める



大切な荷物を安全・確実に運ぶため

適正な運賃

および料金

収受のお願い

※適正な運賃とは、各運送会社が自社の適正な費用・原価・利潤で算出した運賃をいいます。
※料金とは、運送以外の役務等への対価をいいます。

